

授業科目名 <英訳>		アントレプレナーシップ Entrepreneurship			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 特任教授 寺西 豊 医学研究科 特任教授 室田 浩司 医学研究科 特定准教授 小柳 智義 非常勤講師 吉川 友貞 非常勤講師 四本 賢一				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 前期不定	曜時限	月 6	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
<p>コースの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半では、汎用性が高い経営管理手法の習得に力点を置く。講義とケーススタディ演習を組み合わせ、アントレプレナーに必要な思考様式と基本的な経営管理手法の習得に費やす。 ・後半では、講義とワークショップ（ビジネスプランもしくはビジネスコンセプトの作成が中心）を組み合わせた構成とする。講義では、バイオ・医療産業セクターの産業構造の特徴や最新トピックについても触れたい。 ・年度ごとに重点テーマを変えているが、本年度はデザイン思考とビジネスモデル及びベンチャーの事業開発の手法の2点である。前者については、デザイン思考に基づくビジネスモデル作成のスキルを習得する。後者については、ベンチャー固有の資金調達手法（含：VCからの調達、公的金融機関、リース、産業ファイナンス等）と事業計画作成スキルを、講義と演習を通じて身につけてもらいたい。 <p>教育・学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講座は、講義、ケーススタディ演習、ワークショップから構成される。ケーススタディ演習とワークショップに関しては、小グループによるプレゼンテーションがある。 											
[到達目標]											
<ul style="list-style-type: none"> ・コースで習得した思考様式・経営管理手法・業界関連知識を活用することにより、医療系起業家としてのスキルを習得する。 ・これにより、事業シーズ探索から事業開発計画の立案まで出来る能力を獲得する。 ・この様な人材を当講座から輩出し、起業家と研究者との両面の資質を備えた人材を育成し、事業化成功の確率向上に寄与することが、本講座の最終目的である。 											
[授業計画と内容]											
第1回 4月11日 本講座の概要・アントレプレナーシップとデザイン思考（寺西／小柳） 第2回 4月18日 ビジネスモデルの類型と収益構造（顧客戦略） 第3回 4月25日 事業シーズに最適なビジネスモデルと戦略の選択（エスノグラフィー） 第4回 5月9日 ショートケースによる演習（インターラクティブモデル） 第5回 5月16日 会社設立に関する法務・会計・税務（外部講師：四本講師） 第6回 5月23日 財務諸表の読み方（外部講師：四本講師） 第7回 5月30日 個人ビジネスアイデア発表 第8回 6月 6日 サイエンスカフェ方式（ビジネスモデル作成のテーマの絞り込み） 第9回 6月13日 ケーススタディ演習1（グループ討議）（室田） 第10回 6月20日 ケーススタディ演習2（グループ討議）（室田） 第11回 6月27日 資金調達（外部講師：四本講師） 第12回 7月 4日 バイオベンチャーの成長の歩み（外部講師：塩村講師） 第13回 7月11日 中堅企業の新規事業立ち上げ（外部講師：吉川講師）											
----- アントレプレナーシップ(2)へ続く ↓ ↓ ↓ ↓											

アントレプレナーシップ(2)

第14回 7月25日産学連携活動の現状と大学発ベンチャー
第15回 8月1日事業プラン・プレゼンコンペ（受講者）

* 外部講師の都合等で日程変更の可能性あり。

[履修要件]

知財必修・MPH選択

[成績評価の方法・観点及び達成度]

以下の3点を総合的に勘案して評価する。

- ①平常点（出席を含む）、発言頻度（ケーススタディ演習によるプレゼンテーション、ディスカッションへの積極的参加等）
- ②チームワーク
- ③ビジネスモデル発表（orレポート提出）

[教科書]

必須テキスト：なし。講師が作成したPPT資料で代用。その他、適時講義中に参考資料を提示

推奨テキスト：「Successful Business Planning in 30 Days: A Step-By-Step Guide for Writing a Business Plan and Starting Your Own Business」 Peter J. Patsula, William Nowik

「New venture Creation～Entrepreneurship for The 21st Century」 Jeffrey A. Timmons（Irwin/McGraw-Hill）

「コーポレートファイナンス第6版上・下」リチャード・ブリーリー、スチュワート・マイヤーズ（日経BP社）

「ビジネスモデル・ジェネレーション：ビジネスモデル設計書」アレックス・オスターワルダ（翔泳社）

「リーン・スタートアップ」エリック・リース（日経BP社）

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

ビジネスモデル作成にあたり、担当チームでの検討作業が必須となる。

(その他（オフィスアワー等）)

・タイトな講義内容ですが、合理的なカリキュラムを練っております。単なる知識の習得と言うよりも、ビジネス社会で通じる実践的な思考を習得出来るよう工夫しています。
・17年度受講者が講義内で作成したビジネスモデルを基本としたものが、日刊工業新聞主催のビジネスコンペで入賞。また、23年度受講者のビジネスモデルは、大阪商工会議所・大阪NPOセンター等が主催する「CBフォーラムおおさか2011」での事業紹介として取り上げられ、大阪NPOセンターの事業化支援対象事業となりました。

アントレプレナーシップ(3)へ続く↓↓↓

アントレプレナーシップ(3)

- ・このコースを受講した方は、M021夏期集中講義「アントレプレナーシップ特論」（ビジネスゲームによるキャッシュフロー管理、管理会計学の基礎入門コース）を受講できます。
- ・さらに秋開講の文部科学省EDGEプログラムも受講できます。

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。